

資料3

福島県文化振興基本計画(素案)に係る委員からの修正意見等及び対応案について

I はじめに (1~3頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案
1		全体的な標記の揺らぎ	「など」、「等」の使い方に統一性がない。		御指摘を踏まえ、 ・「など」:動詞につながる場合。副助詞として使う場合。 例示として、同類が他にもあることを言外に込めている場合。 ・「等」:名詞に繋がる場合。接尾語として使う場合。 列挙。連続性があり、代表例を挙げ、他のものを省略する場合。 と整理し、素案全体について、改めて見直し、修正しました。
2	1	1 計画策定の趣旨	「県民福祉の向上に資することを目的」 「文化の振興を通して人と地域が元気にあふれ、心豊かなふくしまを実現していくため」 賛同いたします	「文化」の持つ力を理解し、県民の福祉と幸福の向上に資する方策として位置づけることは、本文にもございますように「厳しい社会経済状況や時代潮流の中にあっても」持続していく、福島県の礎となるものと思います。	
3	2	5 ~ 6 美術や音楽などの芸術から、~幅広い対象を文化とします。	前の部分とのつながりから、不自然な気がします。	美術や音楽などの芸術から、~ <u>幅広く対象</u> とします。	御指摘のとおり修正いたします。
4	2	7 また、平成23(2011)年3月に発生した…	1桁の数字は全角になっているため統一した方が良いのではないかと	<代替案> また、平成23(2011)年3月に発生した…	御指摘を踏まえ、1桁の数字は全角に統一するよう修正いたします。
5	2	9 風化させることなく後世に継承するとともに	「、」を入れたらどうでしょうか？	風化させることなく後世に継承するとともに、	御指摘のとおり修正いたします。
6	2	文化の区分の表 「生活文化」の範囲に書道が含まれている。	区分としては「芸術」の範囲がふさわしく、美術に含まるか、又は、書道を追加する。	県芸術祭の主催行事の区分や県総合美術展覧会、県シルバー美術展のいずれでも美術として定着している。	文化芸術基本法における区分をベースとして考えており、当該法律上では「書道」は「生活文化」に含まれているため、原案のままいたします。
7	2	文化の区分の表 「生活文化」の範囲	生活文化の範囲に「香道」を加えるべき。	昔から私たちの生活の中にある芸道の一つ(三道)。形は変わりつつあるが、今でも命の継承として祖先を敬い、お茶やお花そして香をたむける習慣は多くの人々に定着しており、春分・秋分の日には顕著である。芸文連の加盟団体になっている。	御意見を踏まえ、生活文化の区分に「香道」を追加で記載しました。
8	2	文化の区分の表	区分として「伝統工芸」を加えてはいかがでしょうか。県産品振興戦略課のホームページに詳しい記載があり、福島県の誇る文化として、とても重要なものと思います。 21ページの28行目で具体的な施策としての位置付けもされています。	伝統工芸(思いつく範囲です) 陶芸、漆芸、紙漉、編み組細工、つる細工、竹細工、織り、張り子、木工、木彫、和蠟燭、木綿、染物、甲冑 奥会津などで、伝統工芸の文化施設を有し、まちづくりのひとつの軸になっている例もあります。また白河のだるまランドなどの様に、新たな視点で観光資源としての役割も担って行くものとも考えます。	御意見を踏まえ、地域における伝統文化の区分を新たに設け、その範囲に「民俗芸能」と「伝統工芸」を挙げることで整理いたします。 ※原案では「民俗芸能」を伝統芸能に含めていた部分も修正となります。

9	3	年表 平成30(2018)年 障害者文化芸術活動推進法施行	障害者 → 障がい者 平仮名表記に	決して害ではないという事で。	法律の名称であるため、原案のままいたします。法律名以外は、「障がい」と表記します。
10	3	年表 平成24(2012)年の年に記載なし	平成24(2012)年6月に「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(通称:劇場法)」が施行されている。本県は音楽・演劇がさかんな地域、実演芸術の場となる文化施設、それらに対する施策を行なっており、この法律も入れてはどうか	<代替案> 平成24(2012)年の「ふるさとの祭り」の前に、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(通称:劇場法)施行」を入れる	御指摘のとおり修正いたします。 ※通称は省略
11	3	年表 平成28(2016)年	文化庁HP等では、文化芸術基本法の施行は平成29年6月23日とある。(素案p4では平成29年となっている)	<修正> 平成29(2017)年	御指摘のとおり修正いたします。
12	3	年表 記載なし	改正文化財保護法の施行(平成31(2019)年4月)からの「福島県文化財保存活用大綱策定」と繋げられる読み手は極一部に限られると思われ、表中にも改正文化財保護法を入れたほうがわかりやすいと感じる	<代替案> 平成31(2019)年の欄に、「改正文化財保護法施行」を入れる	御指摘のとおり修正いたします。

II 本県をとりまく現状と課題 (4~7頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案	
13	4	15	障害者による文化芸術活動の推進に関する法律	法律は国で定めたものなのでそれを変えるのは大変なので、そのままの表記なのかとは思いますが、障害者→障がい者へ直した方が良い。	条文と説明の内容の字が異なるのは疑問。やはり「害」→「がい」に変更すべきと思います。	法律の名称であるため、原案のままいたします。
14	5	3	10月1日現在	1桁の数字は全角になっているため統一した方が良いのではないかと	<代替案> 10月1日現在	御指摘を踏まえ、1桁の数字は全角に統一するように修正いたします。
15	5	10	多年にわたり	「長年にわたり」という表現のほうが一般的な感じがする	<代替案> 長年にわたり	御指摘のとおり修正いたします。
16	6	4	活動が困難な団体等	団体等 → 団体など	等となどの表記が混在。	御指摘を踏まえ、「等」と「など」を整理し、当該部分では「等」を削除いたします。
17	6	14 ~ 16	国際化の進展や外国人住民の増加・多国籍化、クールジャパン戦略による外国人観光客(インバウンド)の増加などにより、海外において日本文化への関心が高まっています。	国際化や外国人住民の増加・多国籍化など書かれていることは国内のことなのに、「海外において日本文化の関心が高まっています」と結ぶのはおかしいです。	海外において→国内外において	御指摘のとおり修正いたします。
18	6	17	外国人に本県の文化に触れる		外国人が本県の文化に触れる	御指摘を踏まえ、「外国人が本県の文化に触れる機会を充実させるとともに、海外に東日本大震災・原子力災害からの復興と教訓を伝えていくことは、……」と修正いたします。
19	6	26	また、日頃の練習等も含めた活動を余儀なく自粛した団体も多数生じました。	「余儀なく」→「やむなく」との表記の方が分かりやすいのではないかと。		御指摘を踏まえて「日頃の練習等も含めた活動の自粛を余儀なくされた団体も」と修正いたします。
20	7	3	多様性と包摂性のある社会	「包摂性」の表現にただし書きなどを加える。	「包摂性」は日常的に馴染みのない言葉であるため。	御指摘を踏まえて、脚注に「包摂性」の説明を加えます。

21	7	24	ディーセント・ワーク	一般的には余り使用されていない表現。「人間らしい雇用」とはの説明も必要と思います。		御指摘を踏まえて、脚注に「ディーセント・ワーク」の説明を加えます。
----	---	----	------------	---	--	-----------------------------------

Ⅲ めざす文化の姿 (8～10頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案	
22	8	21	文化は、人々に楽しさや感動、	下の同様の段落と「、」の位置を合わせる。表現としてもそれがベターだと思います。	文化は、人々に、楽しさや感動、	御指摘のとおり修正いたします。
23	8	21	1 文化振興の基本目標の概要文	本文の冒頭に、「本県の先人が育み、伝え発展させてきた様々な文化。」といった文言を加えてはいかがでしょうか。	直後の基本目標に明記のとおり、この地に生き、住まい、地域の風土とともに育んできた、自分たちの「祖先や先人の存在」は欠かせないものです。また、「自分たちの文化という意識」や「文化を大切に思う気持ち」も、「先人」とのつながりの中から深まるものだと考えます。そのような理由から、この提案をさせていただきました。	21～29行は、一般的な意味での文化とその効力等について説明する部分であるため、原案のままいたします。
24	8	21	文化は、人々に楽しさや感動、安らぎ、生きがいをもたらすとともに…	文化にはアイデンティティの形成や居場所・コミュニティの創出、魂の自由など、自己の確立や生きることそれ自体に影響を及ぼすものもある。内面に踏み込んだ表現を一つだけでも入れたい	<代替案の例> 文化は、人々に楽しさや感動、癒やし、生きがい、 <u>〇〇(希望／精神の自由／生きる活力…)</u> をもたらすとともに…	御意見を踏まえ「文化は、人々に、楽しさや感動、安らぎ、生きがい、活力をもたらすとともに…」と修正いたします。
25	8	21～22	人々の感性や創造性、豊かな人間性を育む…	文化には人間関係を育む底力がある。<個人>に還元されるモノコトに加えて<対人>に触れる言葉(「関係性」など)を入れると深みが出る感じる。次の段の「地域の連帯感や一体感を生み出し…」にもスムーズに繋がる	<代替案> 人々の感性や創造性、豊かな人間性や <u>関係性</u> を育む…	御指摘のとおり修正いたします。
26	8	24	また、文化には、人と人をつなぎ、	文化は現代の我々だけのものではなく、過去の人々から手渡され未来の人々に手渡していくものである。時間軸の視点を入れるとより深みが増すように感じる。また、ここで時間軸を入れておくと37行の「長い歴史」にスムーズに繋がる	<代替案> ①また、文化には、 <u>時を超えて人と人をつなぎ、</u> ②また、文化には、 <u>過去と現在・未来をつなぎ、人と人をつなぎ、</u>	御意見を踏まえて「、過去と現在、未来をつなぎ、地域の連帯感や一体感を生み出し…」と修正いたします。
27	8	34	育み、つなぐ「ふくしまの文化」	前回入っていた「創る」も入れたらどうでしょうか。未来へ向かっていく感じがします。	例 育み、つなぎ、創造していく「ふくしまの文化」	御意見を踏まえて、「創る」又は「創造していく」を加える方向で検討いたします。
28	8	34	育み、つなぐ「ふくしまの文化」 9頁25行も同様	文化事業は新しい価値を創出する。それを明確に伝えるため「創る」という言葉も入れたい。ただし、「文化を創る」という表現は少々おおざっぱで曖昧に聞こえてしまうため避けたい	<代替案> 育み、つなぎ、 <u>創る</u> 、「ふくしまの文化」	御意見を踏まえて、「創る」又は「創造していく」を加える方向で検討いたします。
29	8	35	人と地域が元気にあふれ、心豊かなふくしまへ 9頁17行、9頁41行も同様	「あふれ(動詞)」+「ふくしまへ(名詞)」がちぐはぐな感じがする。「元気にあふれる福島」「心豊かな福島」(修飾語を並べる)のほうがいくらか語感が良くなるか	<代替案> 人と地域が元気にあふれる <u>心豊かなふくしまへ</u>	動的な状態を表現しており、原案のままとします。

30	9	11 ～ 14	「つなぐ」の視点の囲いの項目に関して	4つ目の項目として、 ○デジタル技術の活用などによる文化の保存や発信を加えてはいかがでしょうか。	前回の会議で発言させていただきました、「デジタルアーカイブ」の視点です。デジタル技術は、「育む」にとどまらないものと考えます。県事業での様々な取り組みも、その場に集った人のみ、その場限りのものとしてはもったいないと考えます。コロナ禍の時代を経て、遠隔でも様々な取り組みを享受できることが、大切な条件にもなっているのではないのでしょうか。そのままデータベースとして残せば、財産にもなると考えます。また、失われつつある地域の中の風習や行事、職人の技術なども、デジタル映像としてアーカイブしていくことなども、本県の今を「つなぐ」取り組みかと思えます。すでに行われていることかとも思いますが、明文化し、意識的に行っていくことも大切ではないかと考え、提案させていただきます。	御意見を踏まえて、「○デジタル技術を活用した文化の継承や発信」を項目に追加いたします。
31	9	6 ～ 14	「育む」「つなぐ」の項目	「育む」「つなぐ」「創る」にして項目の整理	発展や創造と書かれてある項目は「創る」へ移項。「育む」の中に「災害などで途絶えた文化の再生や伝統文化や文化財の保存・活用」を盛り込む。	基本目標の修正に合わせて整理いたします。
32	9	6 ～ 14	【育む】 ○受け継がれてきた文化を守り、育て、発展させる ○地域の文化への新たな社会的、経済的価値の付加 ○復興の新たなステージにおける文化の発展・創造 ○デジタル技術の活用など新たな文化の創造 【つなぐ】 ○文化を次世代につなぐ ○災害の記録・教訓・復興の歩みを国内外につなぐ ○文化で人と人、人と地域、地域と地域をつなぐ	「創る」という言葉を入れた場合の構成を考えてみました。	【育む】 ○受け継がれてきた文化を守り、育て、発展させる ○地域の文化を掘り起こし、育む 【つなぐ】 ○災害の記録・教訓・復興の歩みを国内外につなぐ ○文化で人と人、人と地域、地域と地域をつなぐ 【創る】 ○地域の文化への新たな芸術的、社会的、経済的価値の付加 ○復興の新たなステージにおける文化の発展・創造 ○デジタル技術の活用など新たな文化の創造	基本目標の修正に合わせて整理いたします。
33	9	18	…ふくしま」を創造することを目標とします。	「育む」「つなぐ」「創る」に項目を整理した場合は修正	例) …ふくしま」を目指していきます。	基本目標の修正に合わせて整理いたします。
34	9	18	…ふくしま」を創造することを目標とします。	「創る」「創造する」がダブるので「創造する」は削除	<代替案> ①…ふくしま」を目標とします。 ②…ふくしま」をめざします。	基本目標の修正に合わせて整理いたします。
35	9	32	(文化の効果:人) ◆感性や創造性、豊かな人間性を育む。	文化には人間関係を育む底力がある。<個人>に還元されるモノコトに加えて<対人>に触れる言葉(「関係性」など)を入れると深みが出る	<代替案> ◆感性や創造性、豊かな人間性や関係性を育む。	御指摘のとおり修正いたします。
36	9	30	(文化の効果:地域) ◆人と人をつなぎ地域の一体感等を醸成し、活性化をもたらす。	文化は現代の我々だけのものではなく、過去の人々から手渡され未来の人々に手渡していくもの。時間軸の視点を入れるとより深みが増す	<代替案> ◆時を超えて人をつなぎ、地域の一体感を醸成し活性化をもたらす。	御意見を踏まえて「人と人をつなぎ、現在と過去、未来を繋ぎ、地域の一体感等を醸成し、活性化をもたらす」と修正いたします。

37	10	3・17	文化資源・文化的遺産・地域資源	【確認事項】 「文化財」「文化資源」「文化的遺産」「地域資源」の違い(すみわけ)を教えてください。		以下のとおり、使い分けをしております。 文化財:文化財保護法でいう有形文化財、無形文化財等 文化的遺産:文化財を含み、歴史的かつ文化的に価値があるもの。文化財より大きな概念 文化資源:文化に関する資源、文化そのもの 地域資源:観光、産業、特産品など地域における資源。文化資源より大きな概念
38	10	19	私たちの暮らし 活性化に活かす	「くらし」→「暮らし」 活かすが感じですのでもっと身近なくらしが平仮名?くらしも活かすも現代の用い方に則っているのだとは思いますが。	同じ段落の「活かす」が漢字ですので、もっと身近な「くらし」が平仮名はどうなのか。「くらし」も「活かす」も現代の用い方に則っているのだとは思いますが。	御指摘と庁内関係課からの意見を踏まえ、「いかす」、「暮らし」に表現を統一いたします。 (県総合計画と同じ表現となります。)
39	10	23	文化は、人と人、人と地域、地域と地域をつなぐ基盤となります。	文化は現代の我々だけのものではなく、過去の人々から手渡され未来の人々に手渡していくものである。時間軸の視点を入れるとより深みが増すように感じる	<代替案> 文化は、時を超えて人と人、人と地域、地域と地域をつなぐ基盤となります。	御意見を踏まえて 「文化は、人と人、人と地域、地域と地域をつなぐとともに、現在と過去、未来を繋ぐ基盤となります。」と修正いたします。

IV 推進施策

○施策体系 (11頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案
40		意見なし			

1 県民の文化活動の促進 (12～15頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案	
41	12	9	……、災害やコロナ禍など困難な状況にあっても活動を継続できるよう各種施策に取り組みます。	コロナ禍 歴史に残るものとは思いますが時事的なものではないだろうか。	県民にわかりやすい、社会的に大きな影響を与える新たな感染症の例として、「コロナ禍」と表現しており、原案のままいたします。	
42	12	16	ワークショップを開催するなど	「鑑賞講座・講演会や」と「ワークショップ」と並ぶ列挙があるので、「など」の位置は「ワークショップなど」かと思いました。	ワークショップなどを開催し、 御指摘のとおり修正いたします。	
43	12	19	県立博物館における民俗講座の開催など、	地域の有する文化資源の素晴らしさを再発見するのは民俗学ばかりではない。例えば歴史学も	<代替案> ①県立博物館における民俗講座・歴史講座の開催など、 ②県立博物館における民俗講座の開催、県歴史資料館における歴史講座の開催など、	御指摘を踏まえて、「県立博物館における民俗講座・歴史講座を開催するなど、」に修正いたします。
44	12	19	民俗芸能の実技体験を行うワークショップや……	各団体が行うものではあると思うが、脆弱な団体では難しいと思う。	先を見越しての助成が大事になってくるのではないかと	県が現在実施している民俗芸能復興サポート事業の中で開催しているワークショップなど、自治体が主催する取組をイメージしております。
45	12	33	芸術家等	「等」が示す意味、芸術家以外の何があるのか、不明。	「等」をとってはどうか。	文学の作家や詩人、歌人など、「芸術家」より相応しい肩書きがある方々をイメージしており、原案のままいたします。
46	12	脚注	脚注7 …ワークショップと呼ぶことが多い。	ですます調に統一する	<代替案> ①ワークショップと呼ぶことが多いです。 ②ワークショップと呼ぶことが多くあります。	御指摘を踏まえて、「ワークショップと呼ぶことが多くあります。」に修正いたします。

47	13	3	青少年、高齢者などライフステージに応じて	青少年、高齢者など、 <u>それぞれの</u> ライフステージに応じて		御指摘のとおり修正いたします。
48	13	29	文化振興財団において文化活動に関し優れた成果を収め～	この表現だと、財団から助成や関わって頂いた団体のみが顕彰の対象とも受け取られる。	文化財団において→「おいて」は削除した方が良いのではないかと。	御意見を踏まえて「……貢献した個人又は団体を(財)福島県文化振興財団において顕彰します。」に修正いたします。
49	14	7	芸術文化団体等に対して……	前段までは「芸術」の記載がないにも関わらず入っている。	文化のみならず「芸術文化」が適していると思う。	当該文章では、県芸術文化団体連合会及びその傘下団体をイメージしており、団体名称も踏まえて、「芸術文化団体」としております。
50	15		施策の達成度を測る指標(2)の表記	文化の <u>新</u> 恋を担う → 文化の <u>振</u> 興を担う		御指摘のとおり修正いたします。
51	15		◆施策の達成度を測る指標 指標1「文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していると回答した県民の割合(鑑賞を含む)」	意識調査のなかで「文化活動とは何か」の説明がないため、文化活動の中身が共有されないまま各人のイメージで回答されている可能性がある。県と県民の文化活動の認識の差もあると感じる 文化活動の説明を一言加えることで、回答者に「気付かないうちにしているものが文化活動だった」という気付きを促すことができるかも。小さなルーティン(古い祠に続く道の草刈りですら)が文化活動であることは往々にしてある。気付きを促すことで数値が上がる可能性も また、スポーツも文化だが、意識調査では文化活動とスポーツ活動をわけた設問にしたほうが良いのでは	<提案> 「あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。」 ↓ 「あなたは、音楽や美術、映画やアニメ、地域に古くから伝わるもの等に関する活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。」	指標のうち、意識調査項目としているものは、県政世論調査結果を用いるもので、県政全般にわたる項目について、県民の傾向を長期的に見るための調査であるため、調査項目、内容等を変更することは困難です。

2 芸術の鑑賞その他文化に接する機会の拡充 (16～17頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案	
52	16	施策(タイトル)「2 芸術の鑑賞その他文化に接する機会の拡充」	項目タイトル表記を「芸術の鑑賞他、多様な文化に接する機会の拡充」のような書き方にしてはいかがでしょうか。	「芸術の鑑賞」と「その他文化」が並列に並べられないように感じたため、代案として提案させていただきます。	福島県文化振興条例において、計画で定める事項名として規定する名称と一致させるため、原案のままいたします。	
53	16	2～10、20、35行は、「文化(活動)」 16、23、27、34行は「文化芸術」	文化と文化芸術の記載が混在しており、違いが不明。	文化のみならず「芸術文化」が適していると思う。	文化芸術基本法で使用している文言です。この施策項目では、文化と芸術を総称したものと、「文化芸術」を使用しています。	
54	16	15 ～ 16	……文化施設において、舞台芸術、音楽、美術、工芸品等の優れた文化芸術を鑑賞……	美術の中に、写真や書道が含まれているのか。	美術の中に写真を含み、当計画では書を生活文化としておりますが、すぐれた文化芸術に含まれております。	
55	16	31	バリアフリー化の促進、外国語による…	障がい者といっても幅広い。この文脈でつかう「バリアフリー」という言葉は建物などハード面のイメージに偏ると思われ、ソフト面も強調したい	<代替案> バリアフリー化の促進、難聴者支援の手話通訳や視覚障害者のための音声ガイド、外国による…	御指摘を踏まえて「授乳室等の整備やバリアフリー化の促進、手話通訳や点字表記、外国語による音声ガイド・外国語表記など」と修正いたします。

56	17	5	SNS等のインターネットや文化情報誌などの媒体	12頁の「芸術家等」と同様、他に何を想定しているか不明。以下の「文化情報紙などの媒体」と並べるなら、「SNS等」はなくても可？	「インターネットや文化情報誌などの媒体」	御指摘のとおり「SNS等の」を削除いたします。
57	17		◆施策の達成度を測る指標 指標1	文化センター及びアクアマリンふくしまの目標値が設定されていない理由は何か。	指標設定しないのであれば、どのような形で文化センター及びアクアマリンふくしまについて「評価」するのか。	今回目標値を書き込みました。 ※県文化センターは、入館者数から利用料金免除件数に指標を変更しています。
58	17		◆施策の達成度を測る指標 文化施設の入館者数	コロナの影響を付け加えることは？数値が低く出るのも仕方がないのではないか。	コロナ禍で外出を控えた事実はあるため。	いずれの指標もコロナ禍の影響を踏まえた上での目標値を設定しております。「現状値」としては、県総合計画等で公表している直近の実績と合わせており、原案のままといたします。
59	17		◆施策の達成度を測る指標 文化施設の入館者数	2020-2021年度はコロナ禍の影響が反映した数値になっているため、参考値としてコロナ前の3年・5年といった期間の平均値も掲載してはどうか	<代替案> 現況値・目標値の間に平均値を入れる	いずれの指標もコロナ禍の影響を踏まえた上での目標値を設定しております。「現状値」としては、県総合計画等で公表している直近の実績と合わせており、原案のままといたします。
60	17	脚注	脚注14 Instagramなどがある。	ですます調に統一する	<代替案> Instagramなどがあります。	脚注の元となるSNSを今回削除いたします。

3 青少年の文化活動の促進 (18~19頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案	
61	18	36	機会の充実		機会提供の充実	御指摘のとおり修正いたします。
62	19		◆施策の達成度を測る指標 指標1・2	「(1)鑑賞機会等の充実」をはかる直接的な指標ではないので、例えば【施策の方向】3つめに絡めて、学校等へのアウトリーチの数を指標にした方が充実の度合いを示せるのでは	<代替案> 指標名「学校等で実施したアウトリーチ事業数」 現況値「新出につきなし」 目標値:早急にリサーチを行う(現況値の2倍等)	学校への芸術家の派遣は、県が集約した要望等を基に文化庁が直接実施する事業が中心であり、県や市町村が主体的に取組を強化等できないものであるため、指標には馴染まず、原案のままといたします。

4 伝統文化の継承及び発展 (20~21頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案	
63	20	1、 15	「4伝統文化の継承及び発展」 「(1)伝統文化の継承と発展」	(修正案) 「4伝統文化の継承及び活用」 「(1)伝統文化の継承と活用」	・1行目「4、伝統文化の継承及び発展」、13行目の「(1)伝統文化の継承及び発展」については、伝統文化の「発展」というのは、違和感があるので「活用」にしたらどうか。	「4伝統文化の継承及び発展」については、福島県文化振興条例において、計画で定める事項名として規定する名称と一致させるため、原案のままといたします。 発展は、活用よりも大きな概念として使用しています。

64	20	2 ~ 13	<p>県内各地に伝承、保存されてきた地域の民俗芸能、祭りや年中行事などの伝統文化は、それぞれの地域に根差した自然、歴史、慣習など生活を取り巻く環境により作られ、本県の特色ある文化の重要な構成要素となっており、地域コミュニティの形成・維持や世代間交流に重要な役割を果たしてきました。</p> <p>また、国、県及び市町村で指定される文化財は、先人から受け継いだ貴重な財産であり、次代へ大切に引き継ぎながら様々な形で活用していくことが必要です。</p> <p>全国的な人口減少・超高齢化社会の到来に加え、本県では東日本大震災、原子力災害の影響が続いており、復興・創生の過程において、伝統文化を次代に引き継いでいくとともに、文化財を大切に保存し、地域におけるまちづくりや観光、産業振興の資源として積極的に活用し発展させていくことが重要になっています。</p>	<p>(修正案) 県内各地に伝承、保存されてきた地域の民俗芸能、祭りや年中行事、<u>工芸技術や技法などの伝統文化は、それぞれの地域に根差した自然、歴史、慣習など生活を取り巻く環境によって生まれ、本県の文化を特色づける重要な構成要素であると同時に、地域コミュニティの維持や強化、世代間の交流に重要な役割を果たしてきました。</u></p> <p>また、国、県及び市町村で指定される文化財は、先人から受け継いだ貴重な財産であり、次代へ大切に引き継ぎながら様々な形で活用していくことが必要です。</p> <p><u>本県が被った東日本大震災、原子力災害からの復旧・再生の過程において伝統文化が大きな支えになったことを学びました。全国的な人口減少や超高齢化社会到来に加え、本県の受けた災害の影響は続いており、復旧・創生の段階においても、これまでの経験を生かしながら文化財を含めた伝統文化を次世代に継承し、それを地域におけるまちづくりや観光、産業振興の資源としても積極的に活用していくことが重要になっています。</u></p>	<p>・工芸技術や技法について28～30行目で突然出てくるので、前文に加える。 ・伝統文化の「発展」というのは、違和感があるので削除する。</p>	<p>御意見を踏まえ、 「県内各地に伝承、保存されてきた地域の民俗芸能、祭りや年中行事、<u>工芸技術や技法などの伝統文化は、それぞれの地域に根差した自然、歴史、慣習等生活を取り巻く環境によって生まれ、本県の文化を特色づける重要な構成要素であると同時に、地域コミュニティの維持や強化、世代間の交流に重要な役割を果たしてきました。</u></p> <p>また、国、県及び市町村で指定される文化財は、先人から受け継いだ貴重な財産であり、次代へ大切に引き継ぎながら様々な形で活用していくことが必要です。</p> <p>全国的な人口減少・超高齢化社会の到来に加え、本県では東日本大震災、原子力災害の影響が続いており、復興・創生の段階においても、<u>伝統文化が地域の絆の維持を支えてきた経験をいかしながら、文化財を含めた伝統文化を次世代に継承し、それを地域におけるまちづくりや観光、産業振興の資源として積極的に活用し発展させていくことが重要になっています。</u>」</p> <p>と修正いたします。</p>
65	20	30	会津漆器など地場産業の育成にもつなげる産地固有の伝統工芸の技術・技法を……	会津漆器など地場産業の育成にもつなげる産地固有の伝統工芸の技術・技法を……	「会津漆器など」は個別的になり過ぎるので外してもいいのではないかと。	御意見を踏まえ 「会津塗や大堀相馬焼など地場産業の育成にも……」 と修正いたします。
66	20	30	会津漆器など	もう一つくらい地場産業は挙げられないでしょうか？	例えば、相馬焼はどうでしょうか。	同上
67	21	8	……、市町村の文化財保存活用地域計画の策定を促進します。	市町村の策定が令和2年度の時点に於いて全く無いのもどうかと思えます。	各地、やっているところもありますが、文化財が滅失してからでは遅い。是非市レベルだけでもあればと思います。	現在、策定中の自治体あり
68	21	21	○学校教育における社会の教科等において文化財に関する学習を行い、保護の重要性などについて理解を促進します。	特に小・中学校の教員は地域の文化財についての知識が乏しく(多忙すぎてそこまでの余力がない)、外部講師を派遣する仕組みも必要である。(例えば、NPO 民俗芸能を継承するふくしまの会には歴史・民俗分野の文化財保護審議会委員が複数おり、元教員で現場を知る会員もいる。芸能のみならず文化財全般を教える講師としても活用できるのでは)	<代替案> ○学校教育における社会の教科等において文化財に関する学習を行い、保護の重要性などについて理解を促進します。 <u>また、必要に応じて専門講師を学校に派遣することも推進します。</u>	文化財に関する学習では、文化財の専門家を学校に招く取組だけでなく、県文化財センター白河館など施設における体験学習や出前講座など、外部人材、外部機関を活用した様々な取組を行っており、それらの手法を「文化財に関する学習」として表記しておりますので、原案のままいたします。

5 生活文化の充実 (22～23頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案
69	22 ~ 18	(1)食文化の継承と振興	食文化では、地域の貴重な食文化が数多く埋もれたままになっており、食材をはじめ調理方法やなども含めてこうした文化を掘り起こす作業が必要だと思うので、14行目か23行目あたりにこれに関する一文を加えていただきたい。	(例示)14～18の修正案 <u>本県の豊かな風土に育まれた多様な農林水産物が、地域の郷土料理など豊かな食文化を生み出し、次世代にそれを継承していくために、埋もれている地域ごとの食文化を掘り起こして価値づけたり、ふくしま食育実践サポーターの派遣や学校給食を通じた食に関する学習、地域や学校等において食育を進めるなど、食文化の理解促進や継承に努めます。</u>	御意見を踏まえて、 「本県の豊かな風土に育まれた多様な農林水産物が、地域の郷土料理など豊かな食文化を生み出し、次世代に継承していくために、地域ごとの食文化を掘り起こして価値を見いだしたり、ふくしま食育実践サポーターの」 と修正いたします。

70	23	7	県芸術祭の開催などを通じて、茶道・華道・書道等生活文化の発表・鑑賞の機会を提供し普及・振興に努めます。	書道は「生活文化」ではなく、「芸術」の範疇になるので、削除するとともに、例示としては香道を挙げる。	2頁の文化の区分に係る表の生活文化の範囲に係る意見等と同じ理由	御意見を踏まえて、「茶道・華道、香道、書道等生活文化の発表・鑑賞の機会」と修正いたします。
71	23	10	県民が身近に親しめる囲碁・将棋など国民娯楽の普及・振興に努めます。	ここまで記載する必要があるでしょうか？	少々唐突な感じがします。	喜多方市において毎年「喜多方将棋祭り」が開催されるとともに、囲碁・将棋の棋聖戦、名人戦等のタイトル戦が県内にて開催される際には県として後援するなど、普及・振興を図っているため、原案のままいたします。
72	23		◆施策の達成度を測る指標 など	施策「(2)生活文化の振興」に係る指標を加えるべきではないか。	施策「8文化振興による地域づくり」の31頁で記載がある福島県建築文化賞に係る項目は、「生活文化の振興」の施策に該当するものと思いますので、記載を移動させるとともに、表彰件数を指標としてみてはどうか。	御意見を踏まえて、「地域の周辺環境に調和し、かつ、街並みを形成する景観上優れている建築物等を、「福島県建築文化賞」により表彰します。」を追加いたします。 ※「8 文化振興による地域づくり」も関係があるため、元の記載は残したまま、当該項目にも追加します。 なお、建築文化賞の毎年度の表彰件数は固定（現在は11件）されており、指標には馴染まず、追加しないことといたします。
73	23		◆施策の達成度を測る指標 など	施策「(2)生活文化の振興」に係る指標を加えるべきではないか。	歴史的風致地区の保全に対する実績として、それらに係る指定があるので、指定件数を指標に加えてみてはどうか。 私見であるが、景観法による景観計画策定団体においては、歴史的風致地区の指定が1カ所以上あるのが望ましい姿であると思います。	再掲となりますが、「8 文化振興による地域づくり」に掲げた指標2件「本県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られている」と回答した県民の割合（意識調査項目）及び「自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたい」と回答した県民の割合」を追加します。 なお、歴史的風致形成建造物の指定については、前提となる「歴史的風致維持向上計画（歴史まちづくり計画）」の認定数自体が県内5市町（全国でもまだ86市町村）の段階であり、指標には馴染まず、追加しないことといたします。
74	23		◆施策の達成度を測る指標 指標1・2	「(2)生活文化の振興」をはかる指標には当たらず、別につくる必要がある	<代替案> 適切な指標が思い浮かびませんが、「森林文化の振興」についてはp31の表の3・4の意識調査は使えないでしょうか？また、囲碁・将棋の普及・振興をはかる指標も入れた方が良くと思います。	再掲となりますが、「8 文化振興による地域づくり」に掲げた指標2件「本県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られている」と回答した県民の割合（意識調査項目）及び「自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたい」と回答した県民の割合」を追加します。 なお、囲碁・将棋の普及・振興を測る指標については、どのような確かな指標があるのか、今後も引き続き、毎年の審議会の場などを通じ、委員の皆様の御意見を伺いながら検討して参ります。

6 文化活動を行う拠点の機能の充実（24～26頁）

頁	行	修正箇所（現在の表記）	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案	
75	24	16～18	年齢、性別、身体的能力、言語などが異なる多様な人々のニーズに対応できるよう多言語化、音声ガイド、公衆無線LAN、キャッシュレスの導入等の環境整備に努めます。	16行目に挙げられた条件と17行目の整備項目が合いません。特に、性別に合わせて何が整備されるのか、わかりません。対応するものとして、洗面所、授乳室等が思い浮かぶため、「施設」を入れてはどうでしょうか。具体的なものを加えていただければ、一番いいです。	……導入等の施設・環境整備に努めます。	ご指摘を踏まえて「…キャッシュレスの導入、託児室の設置等の環境整備に努めます。」と修正いたします。

76	24	17	無線LAN 同頁31行・38行	NPO・VRなどは全角なので、統一した方が良いのでは	<代替案> 無線LAN	御指摘のとおり修正いたします。
77	24	35	県出身美術家作品	「県ゆかりの美術作品」に表現を修正	通常、公立美術館では、①県出身・在住美術家とその作品、②県内のモチーフを元に制作された作品、③短期的に県内に住んだ美術家、などを一括して「(福島)県ゆかりの美術作品」として収集・展示の対象としています。現表現では、一部のみとなるため、「県ゆかりの美術作品」がベターと思います。	御指摘のとおり修正いたします。
78	24	38	県立博物館において、公衆無線LANの整備や仮想体験(VR)などデジタル画像を活用した展示を導入するほか、各種講座・講演会、学校と連携した授業と博物館の見学を結びつける活動・体験学習プログラムの実施を推進します。	「県立博物館等において」に表現を修正	今後9年間の計画というスパンで考えると、無線LAN、VR等は他の文化施設(美術館、アクアマリンふくしま、まほろん等)でも広く整備、活用されるべきと思います。	御意見を踏まえて、県立文化施設の施策の方向に、「デジタル技術などを活用した魅力ある展示」を加え、修正いたします。
79	26		◆施策の達成度を測る指標 文化施設の入館者数	文化施設の機能の充実を評価する指標として、入館者数は適切とは思えない。	17頁の施策「2芸術の鑑賞その他文化に接する機会の拡充」で同じ指標が掲げられていることから、当該施策「6文化活動を行う拠点の機能の充実」では指標を設定しない(現指標は削除)との選択もあると思います。	入館者数は「文化施設の機能の充実」を直接図る指標ではありませんが、県民の利便性等を高めることは、利用者の増加につながっていくものであり、関連する指標としています。 なお、審議会で毎年、計画の進捗状況等の報告において、機能の充実に関する取組が確認できるように、主要な内容を個別、具体的に説明してまいります。
80	26		◆施策の達成度を測る指標 文化施設の入館者数	「入館者数」が必ずしも「文化施設の機能の充実・連携の促進」の達成度を図れるものではなく、適切な指標が必要	<代替案> 指標「県有文化施設の連携事業数」 「県内文化施設の連携事業数」 現況値「新出につきなし」 目標値：早急にリサーチを行う(現況値の2倍等)	入館者数は「文化施設の機能の充実」を直接図る指標ではありませんが、県民の利便性等を高めることは、利用者の増加につながっていくものであり、関連する指標としています。 なお、審議会で毎年、計画の進捗状況等の報告において、機能の充実に関する取組が確認できるように、主立った内容を個別、具体的に説明してまいります。

7 文化の交流の推進 (27～29頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案	
81	27 5 ～ 6	…自らの文化を見つめ直す計器となるとともに、文化の発展や創造、地域の活性化につながることが期待できます。	「新たな価値が創出される」ことも盛り込みたい	<代替案> …自らの文化を見つめ直す契機となるとともに、 <u>新たな価値の創出</u> 、文化の発展や創造、 <u>そして地域の活性化</u> につながることが期待できます。	御意見を踏まえて 「自らの文化を見つめ直す契機となるとともに、 <u>文化の新たな価値の創出や発展</u> 、創造、地域の活性化につながることが期待されます。」 と修正いたします。	
82	27	11	……により、本県文化の交流拡大につなげていくことが重要です。	「交流」というと、どこかとの間で、ということになると思うのですが、ここはそれがよくわかりません。	「交流拡大」を「他地域との文化交流の拡大」に修正する。	御指摘のとおり修正いたします。
83	27	34	ホストタウンとなった市町村と海外との文化交流	無観客での開催が多かったのが難しいと思いますが、文化交流につながって欲しいと思います。		

84	28	10	(2)東日本大震災・原子力災害からの復興と教訓の発信	「これから何が大切か」「どうすればいいのか」「本当にそうなのか」など考えさせる情報の発信は重要であると思います。	たとえば、「東日本大震災・原子力災害からの復興と未来への教訓や課題の発信」	御意見を踏まえ、施策の方向の項目(23～25行)について 「伝承館を拠点として、東日本大震災、原子力災害の体験、記憶、記録等に加え、避難地域の再生や復興に向けての取組及びそれに伴う課題を収集、保存、研究し、後世に継承するとともに、国内外に広く発信します。」 と修正いたします。
85	29		◆施策の達成度を測る指標 指標1	2020-2021年度はコロナ禍の影響が反映した数値になっているため、参考値としてコロナ前の3年・5年といった期間の平均値も掲載してはどうか	<代替案> 現況値・目標値の間に平均値を入れる	コロナ禍の影響を踏まえた上での目標値を設定しております。「現状値」としては、県総合計画等で公表している直近の実績と合わせており、原案のままいたします。

8 文化振興による地域づくり (30～31頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案	
86	30	28	地域の文化に根ざした伝統産業	「地域に根ざした伝統産業」に表現を修正	伝統・伝統産業そのものが地域の文化を形づくる一翼となるので、当該表現では順番が逆になっている。単純に「地域に根ざした伝統産業」との表現がベターではないか。	御指摘のとおり修正いたします。
87	30	32	県内のフィルム・コミッション等と連携して…	言うは易いが中々大変かと思えます。県内にコミッション自体があるのでしょうか。		福島市ロケツーリズム推進会議、こおりやまフィルムコミッション、会津若松フィルムコミッション、いわきフィルム・コミッション協議会などがあります。
88	31	1	……のコンテンツを地域の宝として……	地域で行われたときに、県・市町村がどう関わっていくのか。	活動団体への具体的な支援が見えてこない。	県では毎年各地方振興局を通じて、民間団体等が行う地域づくり活動の経費を支援する「地域創生総合支援事業(サポート事業)」を公募により採択して、地域活性化を支援しています。 また、須賀川市と連携してウルトラマンを活用したスタンプリーや特撮を活用したワークショップを開催するなど、地域活性化に取り組んでいます。
89	31	10	「福島県建築文化賞」により、……意識の高揚を図ります。	他の項目は、主に文化と観光の連携を考慮した人と人との交流をテーマとしているのに対し、この項目は、具体的なまちづくりの成果について述べており、異質性を感じる。	当該項目は、施策「5生活文化の充実」「(2)生活文化の振興」に位置付けるのが良いと思われるので、項目を移項してはどうか。	御意見を踏まえて、「5 生活文化の充実」に建築文化賞に関する項目を追加いたします。 なお、「8 文化振興による地域づくり」も関係があるため、現記載は残したまま、当該項目にも追加します。

V 計画の推進と進行管理 (32～33頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案	
90	33	8・12	圏域を越えた広がり… 県民の県域を越えた広域的な文化活動…	【確認事項】 「圏域」と「県域」は変換ミスではなこのままで良いですか？		ご指摘を踏まえて、当該段落においては「圏域」に統一する修正をいたします。
91	33	14	④ 県の推進体制	本項目に、文化振興局の皆さまの想いを感じました。「県政のあらゆる分野に文化の視点を一層取り入れ」ることが、本県を根本から強くし、県民生活の向上に資するものと確信いたします。ぜひご推進ください。		

◆ 施策の達成度を測る指標一覧 (34頁)

頁	行	修正箇所(現在の表記)	御意見等	御意見等の理由・代案等	対応案
92	15	◆施策の達成度を測る指標(再掲) 施策1 県民の文化活動の促進 「文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していると回答した県民の割合(鑑賞を含む)」	意識調査のなかで「文化活動とは何か」の説明がないため、文化活動の中身が共有されないまま各人のイメージで回答されている可能性がある。県と県民の文化活動の認識の差もあると感じる 文化活動の説明を一言加えることで、回答者に「気付かないうちにしているものが文化活動だった」という気付きを促すことができるかも。小さなルーティン(古い祠に続く道の草刈りですら)が文化活動であることは往々にしてある。気付きを促すことで数値が上がる可能性も また、スポーツも文化だが、意識調査では文化活動とスポーツ活動をわけた設問にしたほうが良いのでは	<提案> 「あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。」 ↓ 「あなたは、音楽や美術、映画やアニメ、地域に古くから伝わるもの等に関する活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。」	指標のうち、意識調査項目としているものは、県政世論調査結果を用いるもので、県政全般にわたる項目について、県民の傾向を長期的に見るための調査であるため、調査項目、内容等を変更することは困難です。
93	17	◆施策の達成度を測る指標(再掲) 施策2・6 芸術その他文化部接する機会の拡充 文化活動を行う拠点の充実 「文化施設の入館者数」	文化センター及びアクアマリンふくしまの目標値が設定されていない理由は何か。	指標設定しないのであれば、どのような形で文化センター及びアクアマリンふくしまについて「評価」するのか。	今回目標値を書き込みました。 ※県文化センターは、入館者数から利用料金免除件数に指標を変更しています。
94	17	◆施策の達成度を測る指標(再掲) 施策2・6 芸術その他文化部接する機会の拡充 文化活動を行う拠点の充実 「文化施設の入館者数」	コロナの影響を付け加えることは？数値が低く出るのも仕方ないのではないかと。	コロナ禍で外出を控えた事実はあるため。	いずれの指標もコロナ禍の影響を踏まえた上での目標値を設定しております。「現状値」としては、県総合計画等で公表している直近の実績と合わせており、原案のままいたします。
95	17	◆施策の達成度を測る指標(再掲) 施策2・6 芸術その他文化部接する機会の拡充 文化活動を行う拠点の充実 「文化施設の入館者数」	2020-2021年度はコロナ禍の影響が反映した数値になっているため、参考値としてコロナ前の3年・5年といった期間の平均値も掲載してはどうか	<代替案> 現況値・目標値の間に平均値を入れる	いずれの指標もコロナ禍の影響を踏まえた上での目標値を設定しております。「現状値」としては、県総合計画等で公表している直近の実績と合わせており、原案のままいたします。
96	19	◆施策の達成度を測る指標(再掲) 施策3 青少年の文化活動	「(1)鑑賞機会等の充実」をはかる直接的な指標ではないので、例えば【施策の方向】3つめに絡めて、学校等へのアウトリーチの数を指標にした方が充実の度合いを示せるのでは	<代替案> 指標名「学校等で実施したアウトリーチ事業数」 現況値「新出につきなし」 目標値：早急にリサーチを行う(現況値の2倍等)	学校への芸術家の派遣は、県が集約した要望等を基に文化庁が直接実施する事業が中心であり、県や市町村が主体的に取組を強化等できないものであるため、指標には馴染まず、原案のままいたします。
97	23	◆施策の達成度を測る指標 など(再掲) 施策5 生活文化の充実	施策「(2)生活文化の振興」に係る指標を加えるべきではないかと。	施策「8文化振興による地域づくり」の31頁で記載がある福島県建築文化賞に係る項目は、「生活文化の振興」の施策に該当するものと思いますので、記載を移動させるとともに、表彰件数を指標としてみてはどうか。	御意見を踏まえて、「地域の周辺環境に調和し、かつ、街並みを形成する景観上優れている建築物等を、「福島県建築文化賞」により表彰します。」を追加いたします。 ※「8 文化振興による地域づくり」も関係があるため、元の記載は残したまま、当該項目にも追加します。 なお、建築文化賞の毎年度の表彰件数は固定(現在は11件)されており、指標には馴染まず、追加しないことといたします。

98	23	◆施策の達成度を測る指標 など(再掲) 施策5 生活文化の充実	施策「(2)生活文化の振興」に係る指標を加えるべきではないか。	歴史的風致地区の保全に対する実績として、それらに係る指定があるので、指定件数を指標に加えてみてはどうか。 私見であるが、景観法による景観計画策定団体においては、歴史的風致地区の指定が1カ所以上あるのが望ましい姿であると思います。	再掲となりますが、「8 文化振興による地域づくり」に掲げた指標2件「本県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られていると回答した県民の割合(意識調査項目)」及び「自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと回答した県民の割合」を追加します。 なお、歴史的風致形成建造物の指定については、前提となる「歴史的風致維持向上計画(歴史まちづくり計画)」の認定数自体が県内5市町(全国でもまだ86市町村)の段階であり、指標には馴染まず、追加しないことといたします。
99	23	◆施策の達成度を測る指標 など(再掲) 施策5 生活文化の充実	「(2)生活文化の振興」をはかる指標には当たらず、別につくる必要がある	<代替案> 適切な指標が思い浮かびませんが、「森林文化の振興」についてはp31の表の3・4の意識調査は使えないでしょうか？また、囲碁・将棋の普及・振興をはかる指標も入れた方が良いと思います。	再掲となりますが、「8 文化振興による地域づくり」に掲げた指標2件「本県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られていると回答した県民の割合(意識調査項目)」及び「自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと回答した県民の割合」を追加します。 なお、囲碁・将棋の普及・振興を測る指標については、どのような確かな指標があるのか、今後も引き続き、毎年の審議会の場合などを通じ、委員の皆様の御意見を伺いながら検討して参ります。
100	26	◆施策の達成度を測る指標(再掲) 施策6 文化活動を行う拠点の充実 「文化施設の入館者数」	文化施設の機能の充実を評価する指標として、入館者数は適切とは思えない。	17頁の施策「2芸術の鑑賞その他文化に接する機会の拡充」で同じ指標が掲げられていることから、当該施策「6文化活動を行う拠点の機能の充実」では指標を設定しない(現指標は削除)との選択もあると思います。	入館者数は「文化施設の機能の充実」を直接図る指標ではありませんが、県民の利便性等を高めることは、利用者の増加につながっていくものであり、関連する指標としています。 なお、審議会で毎年、計画の進捗状況等の報告において、機能の充実に関する取組が確認できるように、主要な内容を個別、具体的に説明してまいります。
101	26	◆施策の達成度を測る指標(再掲) 施策6 文化活動を行う拠点の充実 「文化施設の入館者数」	「入館者数」が必ずしも「文化施設の機能の充実・連携の促進」の達成度を図れるものではなく、適切な指標が必要	<代替案> 指標「県有文化施設の連携事業数」 「県内文化施設の連携事業数」 現況値「新出につきなし」 目標値：早急にリサーチを行う(現況値の2倍等)	入館者数は「文化施設の機能の充実」を直接図る指標ではありませんが、県民の利便性等を高めることは、利用者の増加につながっていくものであり、関連する指標としています。 なお、審議会で毎年、計画の進捗状況等の報告において、機能の充実に関する取組が確認できるように、主立った内容を個別、具体的に説明してまいります。
102	29	◆施策の達成度を測る指標(再掲) 施策7 文化の交流の推進	2020-2021年度はコロナ禍の影響が反映した数値になっているため、参考値としてコロナ前の3年・5年といった期間の平均値も掲載してはどうか	<代替案> 現況値・目標値の間に平均値を入れる	コロナ禍の影響を踏まえた上での目標値を設定しております。「現状値」としては、県総合計画等で公表している直近の実績と合わせており、原案のままいたします。
103	34	指標全般に係る現況値の考え方について	R2年度の数値が現況値となっているが、特に施設の入館者数については、コロナ禍で大きな影響を受け、実績値が大幅に減少しています。コロナ禍以前の実績値から大きく減少していることから、ベース値として設定することに違和感があります。	必要によって。過去3年間の平均値、又は、コロナ禍の影響が少なかった令和元年度実績値をベース値として採用することもそれなりの理由付けになると考えられます。 入館者数の目標値設定については、館内の予防対策による入館制限も今後は不可欠であることからそれらも考慮した設定値とすべきではないかと思えます。	いずれの指標もコロナ禍の影響を踏まえた上での目標値を設定しております。「現状値」としては、県総合計画等で公表している直近の実績の記載と合わせ、原案のままいたします。

104	34	指標の設定に関して	文化事業の指標(評価)については、柔軟に(せめて良い指標が見つかったら追加できるように)してほしいと思います。	これまでも審議会で度々指摘がありました通り、適切な指標の設定と具体的な落とし込みはまだまだ道半ばと感じております。数値だけによらない、例えばエピソード評価などの定性評価を取り入れていくこともやはり必要に思います。適切な指標による文化事業の評価・検証は、福島県の文化政策をより良いものにしていくと思います。	文化振興に関する取組を的確に表す指標の設定については、課題として、今後も引き続き、毎年の審議会の間などを通じ、委員の皆様の御意見を伺いながら検討して参ります。
105	34	指標の設定に関して	目標値を決めて達成度を測る方法は前回と同様となるのでしょうか？	例えば、県立美術館の入場者数の指標の他に、イベントの達成度などを試行的に行ってみたらいかがでしょうか？評価方法の別な視点が生まれるのではないのでしょうか。	文化振興に関する取組を的確に表す指標の設定については、課題として、今後も引き続き、毎年の審議会の間などを通じ、委員の皆様の御意見を伺いながら検討して参ります。
106	34	指標の設定に関して	各指標の設定をもどかしく感じました	会議の中でも発言させて頂きましたが、施策の方向と指標が符合していない印象を持ちました。本振興計画の目的達成への目安として、かつ文化行政業務が煩雑にならない形で、よい「指標」が設定できないものかと思うところです。オリンピックなどでも採用されている、ロジックモデルの手法は1案かと思いますが、具体的な提案ができず恐縮です。	文化振興に関する取組を的確に表す指標の設定については、課題として、今後も引き続き、毎年の審議会の間などを通じ、委員の皆様の御意見を伺いながら検討して参ります。

その他(お気づきの点や御意等見があればご記入ください。)

各委員の意見を丁寧に拾っていただき、良くまとまってきたように思います。
会議での各委員の意見をお酌み取りいただきありがとうございます。
令和2～3年はコロナによる行動制限が長かったので、指標の現状値とすると、4年度以降はやりやすいのかやりにくいのか。
地元食材の利用が74.6%迄回復している点を更に増やしていく事が大事なのではないか。それが3.11から復興したといえるものになるのではないだろうか。
素案について、ここまで作成されたことは大変な作業で大変なご苦労があったと思います。お仕事とはいえ皆様のご尽力、県民の一人として御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。